

✓ レポート全文を開放しました。

レポートと領収書はメールでお送りします。このページはこのブラウザで結果を確認するためのものです。

## はじめに

このレポートは、テストの結果をいくつかの角度から見直して、スコアの意味をより広く捉えられるようにまとめています。母集団との比較、年齢層・分野別の参考値、そして今日から始められるトレーニングのヒントまで、ひと通り収録しました。

知能は変えられないものではありません。脳には何歳になっても新しいつながりを作る力があり、適切なトレーニングを続ければ、少しずつ性能を上げることができます。

### 📖 このレポートの使い方

上から順に読み進めると全体像をつかめます。先に気になる章だけ見たい場合は、見出しから飛ばし読みしてもかまいません。最後にあるトレーニングプランは、今日から始められる構成にしています。

## あなたの総合スコア



高い

Typary Cognitive Score

### IQ 分類スケール

≥125 ● 非常に高い

110-124 ● 高い

あなた・118

100-109 ● 平均以上

90-99 ● 平均的

75-89 ● 平均以下

<75 ● 低い

## サブスコア

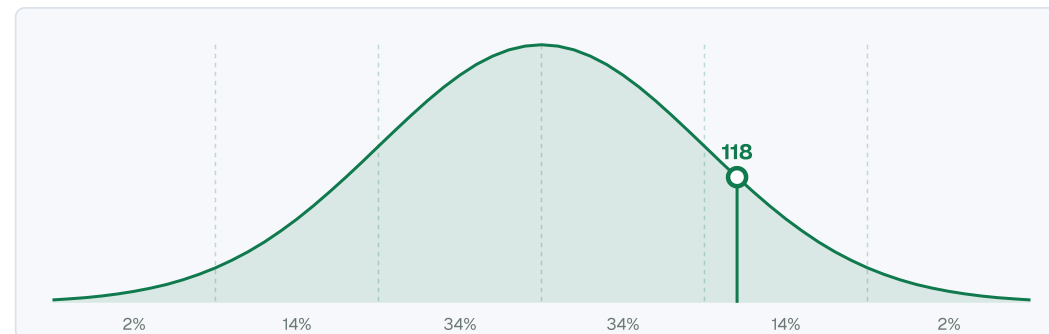
抽象推論 84 / 100

視覚パターン認識 76 / 100

※ 視覚パターンは7問のみのため分散が大きく、補助指標です。

処理速度 68 / 100

## 一般分布



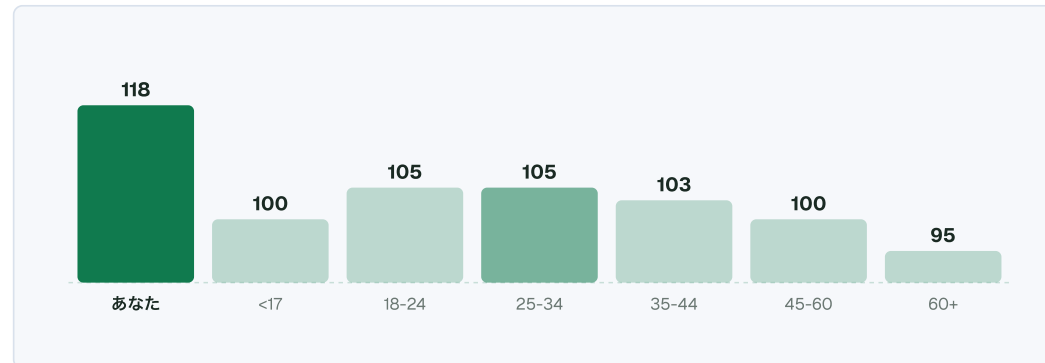
あなたの TCS は **118**。母集団のおよそ **88%** の人より高い位置にあります。

TCS は、平均が 100、標準偏差が 15 の正規分布で表されます。中央に近いスコアほど人数が多く、端に向かうほど該当する人は少なくなります。

## 各セグメントの意味

- <70 (2%) — 抽象的な推論や、自分で問題を組み立てて解くのは難しい範囲。
- 70-85 (14%) — 慣れた作業は得意。新しい課題や複雑な課題では立ち止まることもある範囲。
- 85-100 (34%) — しっかりとした認知の土台がある範囲。日常的な学業や仕事のほとんどに対応できる。
- 100-115 (34%) — 平均より上。複雑な推論にも慣れていて、新しいスキルを覚えるのも速い範囲。
- 115-130 (14%) — 強い分析力。負荷の高い分野でも安定して力を発揮できる範囲。
- >130 (2%) — 速く、稀なパターンを見抜く力。抽象的な思考にも長けた範囲。

## 年齢層別分布



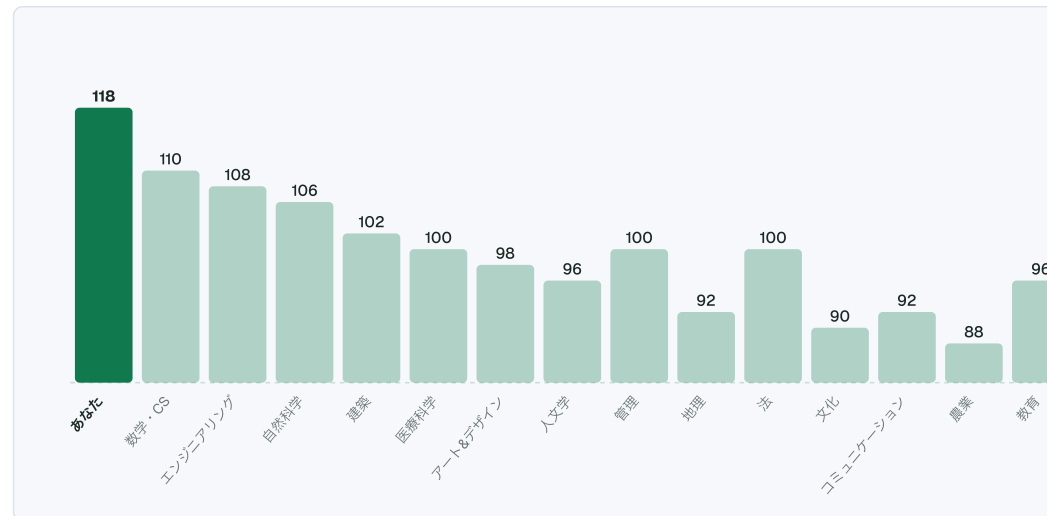
あなたの TCS **118** は、同年齢層 (25-34) の参考平均 **105** と比較できます。

処理速度と作業記憶は、18～34 歳ごろにピークを迎える傾向があります。35 歳を過ぎるとこれらは少しずつ落ちていきますが、語彙力・関係を読み解く力・蓄えてきたパターン認識は、60 代まで伸び続けることもめずらしくありません。

### 📌 トレーニングは年齢の影響をやわらげる

短時間でも毎日続けると、記憶力・注意力・推論力を支える神経のつながりが保たれます。年齢に逆らうというよりも、衰えを緩やかにしていくイメージです。

## 学問分野別分布



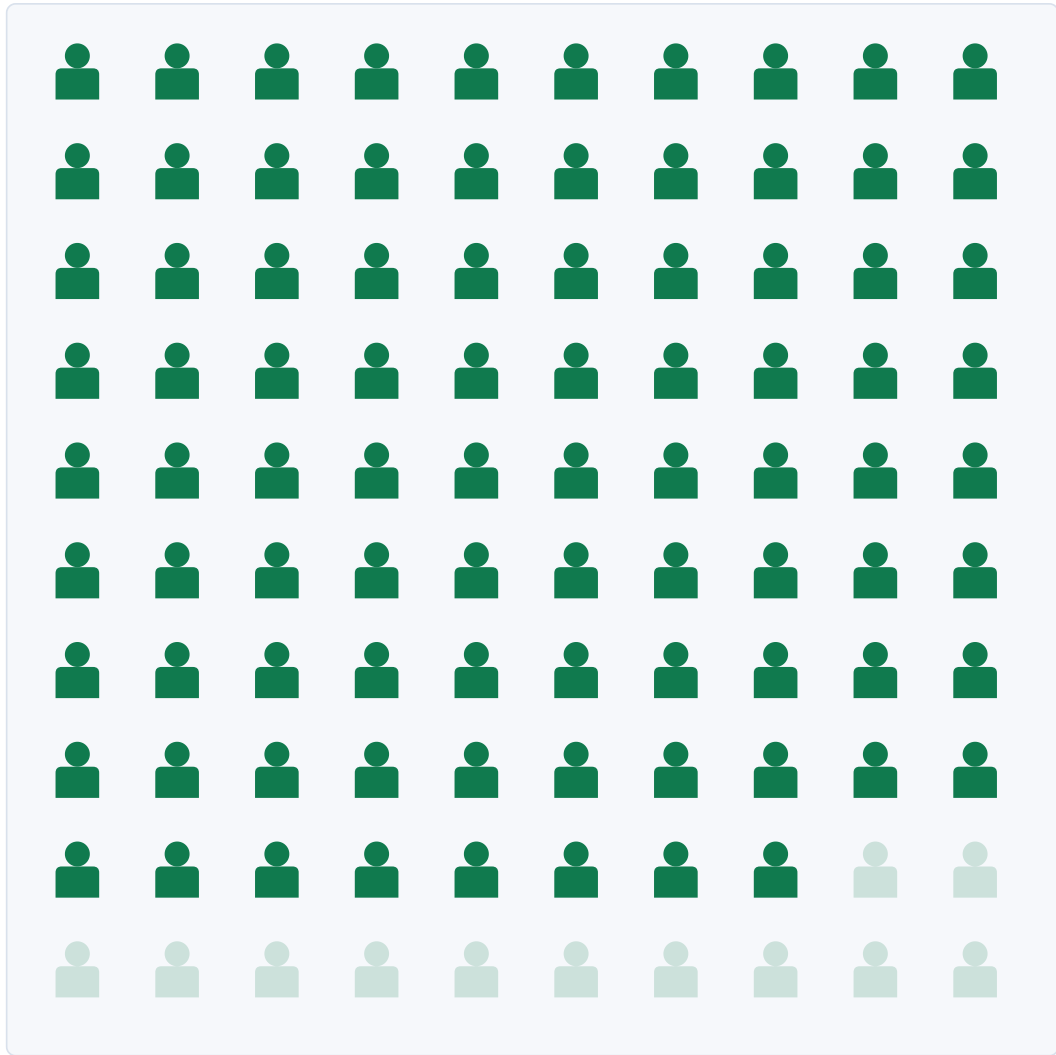
各バーは、分野ごとに参考とされる平均IQを示しています。これは合格ラインではなく、あくまで目安です。要求の高い分野で活躍する人の多くも、最初は平均値前後からスタートしています。

#### 📌 分野ごとに伸ばし方が違う

数学・工学・自然科学などは、論理的な推論や空間を捉える力が大きく関わります。一方、文化・教育・コミュニケーション系では、言葉の流暢さ・つながりを見つける思考・対人理解が重要になります。どちらも訓練で伸ばせます。

## 他のユーザーとの比較

**88**位パーセンタイル



あなたの TCS は、同年齢層の他のユーザー約 **88%** より高い位置にあります。

パーセンタイル順位は、同じ年齢層のなかで自分がどのあたりに位置するかを示します。絶対的な評価ではなく、その時点での集団のなかでの相対位置です。ベルカーブと一緒に見ると、自分のスコアが分布のどこにあるかが直感的にわかります。

📌 順位を上げるには

短く集中する練習を毎日続けるのが、もっとも効果的です。記憶力・注意力・推論力を狙ったミニセッションを積み重ねると、スコアは少しずつ動いていきます。

## 認知の傾向

### 思考スタイル

論理を順に積み重ねていく思考スタイルです。確実に正解を組み立てるのが得意で、ひらめきが必要な場面では、あえて別の答え方を考える時間をとると視野が広がります。

### 知覚スタイル

視覚的な「見え方のクセ」は、いまの問題だけでは細かく判定しきれませんでした。全体から物事を捉えるタイプか、細部から捉えるタイプかをより正確に診断する設問は、今後追加していく予定です。

## 強みと改善ポイント

平均より高い水準で、着実に正解を選べるスタイル。判断の速さは少し控えめなので、時間配分の練習を取り入れると伸びしろがあります。

### 強み

標準的な推論問題は安定して正解できています。応用課題や類題の量を増やすと、さらに上の水準が見えてきます。

### 改善ポイント: [処理速度](#)

問題によっては考え込んで時間がかかった場面がありそうです。簡単な問題はテンポよく決め、難しい問題にじっくり時間を使うリズムを意識すると効率が上がります。

## TCS を理解する

スコアは生まれつきで決まっているわけではなく、遺伝的な土台と、これまでの環境・習慣・トレーニングの組み合わせで変わっていきます。

### スコアに影響を与える要因

▶ 遺伝

個人差のおよそ半分を占めるとされていますが、残り半分は環境・生活習慣・意図的なトレーニングで変えられる範囲です。

#### ▶環境と育ち

幼少期の刺激・栄養・教育の質は、その人が発揮できる認知能力の幅を大きく左右します。

#### ▶学びとトレーニング

学校教育は推論と記憶の土台を作ります。大人になっても、考えを言葉にする練習や問題を解く習慣を続けると、神経のつながりは活発なまま保たれます。

#### ▶生活習慣

睡眠・運動・食事・ストレスとの付き合い方は、認知能力に直接効いてきます。よく休んだ脳は、記憶や推論の課題で目に見えて高いパフォーマンスを発揮します。

#### TCS の限界

▶文化のかたより — 設問は特定の文化的な背景を前提に作られているため、言語や教育環境が異なる人には不利になることがあります。

▶測れる範囲は限られる — このテストは認知能力の一部分を測るもので、創造性・感情の知性・社会性・実践知などは対象にしていません。

## 4 週間トレーニングプラン (重点: 処理速度)

### W1

1 週目: 時間を気にせず全問正解を目標にして、「速さよりも正確さ」を取り戻します。

### W2

2 週目: かんたんな問題を 30 秒以内で答える練習を、毎日 10 問ずつ取り入れます。

### W3

3 週目: 中くらいの難しさの問題を 60 秒以内で判断する練習に切り替えます。

### W4

4 週目: 本番に近い時間制限で受け直し、平均の回答時間がどれだけ縮まったかを確認します。

## このスコアについて

本スコアは 36 問のスクリーニングテストの回答から導いた目安の値で、臨床的な IQ 検査ではありません。教育・エンターテインメント目的で提供しています。

全 36 問中 36 問に回答・年齢層: 25-34

このレポートはご登録のメールアドレスにもお送りしています。リンクを紛失したら [再送ページ](#) から再発行できます。領収書やお支払い情報は [請求ポータル](#) から確認できます。